

【Zenスポーツ健康チャレンジチケット】

Zen スポーツ健康チャレンジチケットをご存知ですか。対象のスポーツイベントや健康教室に参加してチケットを3枚ためると、Zen 1枚と交換できます。Zen は、ずしのお金として市の施設の利用や市内のお買い物などに使えます！

イベントに参加して健康になろう！ Zen をもらおう！

① スポチャレチケットのもらい方

(1) イベントを探そう！

参加したい対象イベントを探します。対象イベントは下記HP又は公共施設に配架しているリーフレットをご覧ください。



(2) イベントに参加してチケットをもらおう！

対象イベントに参加すると、チケットをもらえます。

※同一の対象イベントの場合は、原則、複数回参加してもチケットは1枚のみの交付となります。



② チケットが3枚たまったらZenと交換！

チケット3枚を市民交流センターでZen 1枚と交換しましょう。



- イベント例（場所）
- ・毎月最終水曜日のラジオ体操（久木神社）
 - ・ウィンドサーフィン教室（逗子海岸）
 - ・ジュニアテニス教室（第一運動公園テニスコート）
 - ・高齢者向け運動教室～座ってらくらく体操教室～（市民交流センター会議室）
- など他にもたくさん！

交換したZenは、1枚当たり100円相当として、市民交流センターの会議室や印刷機など市の施設の利用料に使えるほか、しおかぜ組合加盟店での買い物などに使えます！

詳しくは市HP又はお気軽に市民協働課にお問い合わせください。

<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/sim/volunteer-p.html>

7月 フールセンターカレンダー

※開館時間 9:00～21:00

（総合窓口受付 ～20:00/プール入場 ～20:30）

		プール専用使用コース	交流センター
日	曜日	10～12時	13～15時
1	月	逗子小学校	2コース
2	火	休館日	
3	水	逗子小学校	
4	木	逗子小学校	2コース
5	金	逗子小学校	
6	土		2コース
7	日		
8	月	逗子小学校	2コース
9	火	逗子小学校	2コース
10	水		
11	木	逗子小学校	2コース
12	金	逗子小学校	
13	土		2コース
14	日		
15	月		2コース
16	火	休館日	
17	水	逗子小学校	
18	木		2コース
19	金		
20	土		2コース
21	日		
22	月		2コース
23	火		2コース
24	水		
25	木		2コース
26	金		
27	土		2コース
28	日		
29	月		2コース
30	火		
31	水		
8/1	木		2コース
2	金		
3	土		2コース

9月分抽選申込受付期間

9月分抽選結果発表

当選確定手続期間

9月分先着予約開始

- ・ 逗子小授業の日は9～13時まで入場不可です。
- ・ 専用使用がある時間帯は3コースのみの使用となります。
- ・ 小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です（付添1人につき2人まで）。

発行：市民交流センター Vol. 37(平成25年6月20日)



市民活動の豊かな“森”が育つ ～市民交流センターが生まれて7年目～

私は10年以上前に、都内通勤者や、団塊の世代の地域デビューを支える仕組み作りに関わりました。

地域通貨の導入にあたり当時考えたのは、地域通貨が市民活動の“根っこ”に相当する仕組みとなり、様々なアイデアや、地域内ネットワーク、場所や道具などの活動資源を通貨が“吸い上げ”、それを枝葉、花、果実に“実らせる”という構想。「地域通貨」の仕組みも多様ですが、複数システムが逗子で共生すれば、市民活動が“大きな森”に育つものと考えていました。

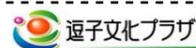
しかし当時、市民が主導したシステムは、今は休眠状態です。原因の一つは、地域通貨が“根付く”ために不可欠な、団体間のコミュニケーションの場という“土壌”が無かった、あるいは我々が十分に“開墾”できなかったことです。

今は、センターの存在により、大きく変わった雰囲気を感じています。団体の個別の打合せが、居合わせた顔見知り同士の別の打合せに変わることを良く目にします。また、当時の担当職員の方の粘り腰で、地域通貨に相当する「Zen」を創り、スタッフの方々が“開墾”と“土づくり”に精を出し、市民活動の“豊かな森づくり”が進められているのです。

ただ、均質な空間では森の動植物は固定化されます。人が手を入れ生育条件が多様化した里山が豊かな生物の宝庫となり、恵みをもたらすように、今後とも、センターには、地域内外に開かれた場となり、市民と力を合わせて機能強化していくことを期待します！



市民協働等推進懇話会 座長 室伏多門



市民交流センター

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11

TEL 046-872-3001

FAX 046-872-3003

kouryu@city.zushi.kanagawa.jp

つながる つながる



アートでつながる障がい者のエネルギー

先日、平塚のパントマイム劇団で活動している福田稔さんという方のお話を聞きました。



「湘南亀組」は1980年、県立平塚擁護学校の寄宿舎生のパントマイム同好会として始まったようですが、1990年、寄宿舎が閉舎になったときに、「もっとやりたい」「なくしてしまうのは、もったいない」と、「湘南亀組」という名前で再出発したそうです。

福田さんたちは、さまざまな社会問題を取り上げ、全国で公演を行っています。「身体が不自由な…」と呼ばれる障がい者が身体を使って表現することを、見世物だと言われたりして、悲しい思いをしたこともあったようですが、徐々に障がい者の文化、芸術活動にも目が向けられるようになり、社会が少しずつ変わってきたのを感じるといいます。

2004年からは韓国でも公演を行うようになり、2008年には、韓国の障がい者施設の人たちを日本に招いて日韓合同公演を実現させたそうです。アートが「障がい者」と呼ばれる人たちの可能性を広げ、国境を超えてつながる力を生み出したことに感銘を受けました。

しかし今、障がい者への差別がなくなったかというところ、福田さんは、「差別をオブラートに包んでいるだけ」「変わらない」とはっきり言います。

脳性まひがあり、車イスに乗って腕を振り動かしながら全身の力を振り絞って話す福田さんに圧倒されました。

市民協働コーディネーター 木下理仁

ボランティアセンター 便利

中高生向け夏休みボランティア体験

「サマースクール」

7月1日（月）から受付開始！

昨年の参加者の感想

今年も開催！

- みなさんのほうから話しかけてくれて、とても楽しくお話しできました。この経験を大人になって活かされたいと思います。（高齢者福祉施設に参加・高2男子）
- どう接していいかわからなかったけど、接しているうち、できるようになり、大変だったけど楽しくできました。（障がい者福祉施設に参加・中2女子）
- たくさん子どもたちと触れ合うことができて、すごく充実した2日間でした。子どもたちを寝かせることなど、普段はできない貴重な経験ができました。（保育園に参加・中3女子）
- 子どもと接する機会があまりないので、今回のボランティアで子どもたちと遊んだりお世話をしたり、とてもよかったです。（保育園に参加・高1女子）

詳細は「さくら貝」夏号にて

開設日・時間：月曜日～金曜日 9時～17時
（交流センター休館日・祝日は除く）

連絡先：電話 046-873-8037

FAX 046-872-2519

Eメール vc@zushi-shakyo.com



結果報告！2013 スポーツチャレンジデー 参加・協力ありがとうございました！

5月29日（水）は、チャレンジデーに参加いただき、ありがとうございました。
南砺市との対戦結果は…

	参加率	人口	参加者	実施回数
南砺市	47.2%	54,995人	25,937人	9回目
逗子市	27.1%	60,296人	16,317人	2回目

今年のチャレンジデーは地域の皆さまのご協力のもと地域でのラジオ体操の定着化もあり、スポーツへの意識向上と習慣化をすることができました。これをきっかけに、さらなる健康維持増進につながることを期待します。今後も本市のスポーツ推進を図るうえで、ご協力をよろしくお願いいたします。



報告

報告！平成25年度市民活動のススメ講座

「相手のココロをつかむ話」をする秘訣

～あなたの想いは伝わっている？
コミュニケーションの意外な落とし穴～



「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは…」
講師は登場したとたん枕草子の朗読をはじめ、参加者はちょっとびっくり！そんな冒頭から始まったこの講座は、一体感のある明るい雰囲気の中、自覚的に人のためになろうとすることや、自分を磨き向上させることの大切さを実感しました。
実は、細野講師の講座は好評のため前年度から引き続き2回目！アンケートでは「とても楽しく日々の生活に活かせる知恵をいっぱい教えていただきました」「無料なのに内容の濃さに驚きました」などのお声がありました。



環境にやさしい



代表
三浦孝一

子どもたちの未来を守る会@逗子葉山
ちびマモ

こんにちは。ちびマモです。私達は子どもを被ばくから守りたいと願う逗子・葉山のお母さん、お父さんたちの集まりです。

2011年3月11日の地震によって福島第一原子力発電所からは沢山の放射性物質が撒き散らされました。

逗子や葉山のある関東でも山や森や川、そして海が放射能で汚染されました。そんな環境の中で放射能から子どもを守りたい！と考えると会は活動しています。

活動はHPやツイッターからの情報発信、空間線量や食品の測定、お茶会、講演会、市政への交渉活動など。今後も、放射能汚染が気になる周りの方々と繋がっていきながら、活動していきます。

問合せ：メール chibimamozuyo@gmail.com

HP <http://chibimamozuyo.web.fc2.com/>

ツイッターはこちら [@chibimamozuyo](https://twitter.com/chibimamozuyo)



団体紹介

三浦竹友の会



会長
松崎栄次

自然環境のなかで竹林の適正な状態を維持するための保全整備ボランティア活動を目的に、三浦半島を中心とした美しい竹林の育成、管理及び竹資源の循環活用を目指しています。荒廃した竹林を整備することにより、自然の生態系の維持と景観が保持されます。

そして、間伐材を活用した昔ながらの竹トンボや竹ぼっくりの制作を通して、地域子供会の創作力育成に貢献しています。

逗子市内では名越緑地里山、一の沢公園の竹林の保全整備活動中です。問合せ：046(871)6829(松崎)



竹の間伐作業風景



自分で作った水鉄砲で遊ぶ

歩行者と自転車のまちを考える会



会長
白川雄一

逗子市まちづくり基本計画に掲げられた「歩行者と自転車優先のまち」実現のため、有志により2008年10月に設立された市民団体です。逗子市内の交通を自動車中心から歩行者と自転車優先に変更するための市民向け啓発活動と市に対する提言を通して、健康的で環境に優しい循環型社会としての逗子を目指しています。

2008年よりカーフリーデーのイベントを5年連続で実施し、2009年からは環境ウィークスのイベントとしてツール・ド・逗子を開催。5回目となる今年は180人の参加者が集まり、逗子市内のポイントを環境に優しい自転車で巡りました。

問合せ：090-1694-1207(白川) a_to_zushi@sea.plala.or.jp



ツール・ド・逗子 2013 大盛況！



逗子カーフリーデー

逗子ほととぎす隊

(逗子市まちづくり基本計画見守り隊)



「いのちの森づくり」一自然部会

2009年から逗子小学校を最初に、児童、教職員、父兄と一緒に校庭周りに樹を植えてきました。2011年までの3年間で約700本となりました。どんぐりの実から育てた常緑広葉樹が中心です。30年後の2040年頃には鎮守の森のように大きく育って、火災等の災害から守られるスポットになることを目指しています。これを「いのちの森づくり」と呼んでいます。他にも下記の活動を展開しています。

- ◆田越川・久木川の上流から河口までの一斉清掃
- ◆旧脇村邸（登録有形文化財）・蘆花記念公園の清掃と整備
- ◆永続的な「いのちの森づくり」を目指したポット苗づくり

問合せ：info@hototogisu.info(本川)



一斉清掃後に…
及川、田中、本川



いのちの森づくり@久木小学校



田越川・久木川の一斉清掃

お知らせ



市民協働課から

パブリックコメント市民意見募集！

募集期間：6月28日（金）～7月29日（月）
案件：市民活動を支援するための新しい補助金制度の創設に際しての意見
※市民協働課までご提出ください。

三浦半島活断層調査会 逗子支部から

センター通信6月号に掲載の「2013年ずし減災大学」（小坪編）の参加費は、1,000円から500円に変更になりました。

交流センターから

幼児用いすを3脚設置しました。活動スペース、喫茶交流コーナーでご利用ください。



ちょっと気になるココ！
ここでは、市民の方からのいろいろな情報を提供していきます

田越川から海岸まで……



駅から海まで田越川沿いを歩いてみると……。

通りは海辺の街らしいのんびりした雰囲気でも歩くだけでも気持ちいい。素敵なお店を寄り道しながらゆっくり歩けばいつの間にか海岸……。夕陽のころには水面が赤く染まり、春は桜、夏は柳が美しい。カルガモや、ホタルを見かけることも。

田越川清掃など、逗子のあたたかい人達の手で守られています。

(葉山 村川)